

# 令和3年度 妙義中央公民館事業報告

## 1 運営方針

### (1) 基本方針

地域住民のニーズに合わせて各種講座教室を開催し、生涯学習の場、発表の場、交流の場等、市民の生涯学習活動の拠点として、地域に根ざした活動を実施します。

また、地域課題の解決を目標とした、各団体の自立した体制づくりを支援します。

### (2) 重点施策

○地域の特性を活かし、幅広い年齢層に対応した教室や講座を開催します。

○地域住民同士の交流を促進し、地域の活性化を図ります。

○各種団体との連携を図り、協働の地域づくり活動の推進を行います。

○妙義山関連イベント（みょうぎプロジェクト関連事業・紅葉フェスティバル）を開催します。

## 2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生	青少年教室	読書感想文教室	7～8月	11人	2回	主催
		夏休み科学教室	8月	24人	1回	主催
小中学生		妙義山を描く教室	7月	14人	1回	主催
成人	文化講座	万葉集・東歌の世界教室	7～11月	40人	4回	主催
		おいしいコーヒーの淹れ方教室	12月	22人	2回	主催
		思い出の歌を訪ねて教室	7～2月	22人	4回	主催
		初級きりえ教室	1～3月	6人	2回	主催
		寄せ植え教室	7・12月	6人	2回	主催
	健康講座	ヨガ教室	12～1月	12人	2回	主催
	ものづくり学習	小物づくり教室	4～3月	43人	5回	主催

小学生	地域づくり協議会子育て高齢者支援事業	入学祝品贈呈	8月	21人	2回	主催
		子ども見守り	11～3月	116人	14回	主催
高齢者	地域づくり協議会子育て高齢者支援事業	高齢者見守り 配食サービス	11～3月	175人	5回	共催
		妙義地区敬老事業	10月	790人	1回	主催
地域住民	地域づくり協議会防犯・防災事業	地域防災計画作成	4～7月	90人	4回	共催
	地域づくり協議会地域活性化事業	環境整備活動	9・10月	38人	2回	主催
		中央公民館イルミネーション活動	12～2月	76人	2回	主催
		花いっぱい活動	12月	56人	1回	主催
	地域づくり協議会健康スポーツ事業	軽スポーツ（ボッチャ） 講習会・体験会	10～11月	48人	2回	共催
地域づくり協議会伝統文化事業	文化財散策	11月	28人	1回	主催	
市内	みょうぎプロジェクト事業	市民作品展	11月	1,285人	1回	共催

### 3 主な事業紹介

#### (1) 公民館教室「妙義山を描く教室」

##### ①ねらい

地域の小中学生を対象に、妙義山をテーマにした絵画の制作を通じて芸術文化に親しみを持ち、地域への興味関心や郷土愛を育むことを目的に開催しました。



##### ②事業内容

妙義山を一望できる妙義ふるさと美術館の展望室及び屋外で、妙義山の絵画制作を行いました。

講師である妙義中学校教諭の土屋悠氏から、絵画制作の手順や描き方を指導いただきました。講義では、妙義山をモチーフにした美術館の収蔵作品の鑑賞など、施設の特徴を活かしたカリキュラムを取り入れました。

また、制作した絵画は11月に当美術館で開催した妙義プロジェクト2023「市民作品展」に展示しました。

## (2) 事業の評価・反省

「妙義山を描く教室」は、将来を担う子どもたちの地域への愛着を育むため、妙義特有の地域資源を活用して今年度初めて開催しました。参加者の中には、妙義地区以外の住民や、ふるさと美術館に初めて来館した人もいたため、今後、公民館事業への参加や妙義山周辺地域に足を運んでもらえるきっかけになることを期待しています。参加者はそびえ立つ妙義山を目の前にして絵画を制作し地域の自然や魅力を体感したようでした。

今回は、小学1年生から中学2年生までの参加がありましたが、幅広い年齢の子どもたちの交流を図ることができた一方で、集中力や能力が年齢で異なるため、学年に応じたスケジュール設定が課題となりました。

また、制作した絵画は、みょうぎプロジェクト2023主催の「市民作品展」に展示し、他の事業との連携を図ることができました。

## 4 今年度のまとめ（評価・反省）

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、計画した事業の中止・延期を余儀なくされました。そのような状況でも実施できた事業については、感染対策をして行いましたが、新しい生活様式に対応した事業の実施が今後の課題となっています。

公民館教室は、地域の特色を生かした教室を新規に開催し、継続性が期待できる事業もありました。また、従来から継続している教室については、社会教育の観点から、参加者による主体的な運営を促しました。さらに、地域の状況や住民ニーズに合わせて、東部公民館との連携による事業を実施しました。

地域振興及び地域づくり事業については、コロナ禍により参加を控える傾向があったため参加者が集まりづらい状況でしたが、他の部署や団体との積極的な連携に努め、内容の充実を図ることができました。

今後は幅広い住民からの意見を吸い上げ、今年度事業の検証結果とあわせて地域課題の解決のための事業に反映していきます。